



QCサークル関東支部埼玉地区

第6582回 改善事例選抜大会

2024年度 スローガン

QCサークル活動（小集団改善活動）を通じて、「元気な埼玉」を取り戻そう！

主催：QCサークル関東支部埼玉地区

後援：埼玉県

(一財) 日本科学技術連盟

(一社) 埼玉県経営者協会

目指せ！県知事賞

参加のおすすめ

皆さまのご参加をお待ちしております

本大会は【**関東支部 改善事例チャンピオン大会**】へ出場サークルを選考する場です。
また最優秀サークルには『**埼玉県知事賞**』が授与されます。

参加者のメリットとしては、

1. 他社のQCサークル活動（小集団改善活動）事例を聴講することができます！
他業種の改善活動が、様々な観点において参考となります。
2. 他社事例の聴講により、自社のレベルの確認ができます！
自社サークルの強み・弱みが把握できます。
3. 自社と違った活動のやり方や、ツール等を知ることができます！
気づきを持って帰って頂き、自社の活動に反映することで、サークルやご自身のレベルアップが図れます。
『QCサークル活動を通じて、元気な企業体質改善に繋がる絶好の機会です。』

開催概要

- ☆開催日：2024年10月25日(金)
- ☆時間：10:15～16:14（受付 10:00～10:15）
- ☆会場：さいたま市文化センター（小ホール）
- ☆申込：別紙【参加申込書】にて申し込みください。
- ☆申込締切：9月30日（月）
- ☆参加費：
幹事会社 4,500円/1名（要旨集・昼食・消費税含む）
一般（会員）5,500円/1名（要旨集・昼食・消費税含む）

プログラム

- 10:00 ～ 10:15 受付
- 10:15 ～ 10:24 開会
- 10:24 ～ 11:28 改善事例発表 3件 / 休憩10分
- 11:28 ～ 12:04 改善事例発表 2件
- 12:04 ～ 12:54 昼食休憩
- 12:54 ～ 13:40 改善事例発表 2件 / 休憩10分
- 13:40 ～ 14:44 改善事例発表 3件 / 休憩10分
- 14:44 ～ 15:44 特別講演
- 15:44 ～ 15:46 準備
- 15:46 ～ 15:51 来賓挨拶
- 15:51 ～ 16:11 審査結果発表・表彰式
- 16:11 ～ 16:14 閉会

特別講演

【テーマ】ひとり一人の“がんばり”にスポットライトを！ ～グローリー(株)のQCサークル活動について～

<講演内容>

自社での推進事例をご紹介します。推進事務局として、長年の経験談を中心に
現在、チャレンジしていることも紹介します。
推進者のみなさまの少しでも良いご参考になれば幸いです。

【プロフィール】

- 1982年入社：品質管理部 作業標準の普及推進担当
- 1986年：品質管理部 QCサークル活動 全社推進事務局
- 2011～2020年：品質・環境推進部 GUTS(小集団改善活動)推進G グループマネージャ
- 2021年～現在：生産企画部 QCサークル活動全社推進担当SP(スペシャリスト)

★QCサークル本部認定指導員、QCサークル近畿支部 副世話人、日本品質管理学会 関西支部 代議員



名倉 三加代 様
グローリー株式会社
生産企画部

発表サークル みどころ・きどころ

会社・事業所名	サークル名	テーマ名
UDトラックス(株) 本社・上尾工場	EXPORT	ステアリングホイール梱包作業における作業時間の削減
私たちのサークルは全員参加で一致団結をモットーに、生産変動に柔軟対応できる多能化と誰でもできる工程作りを方針としています。今回は梱包容器に着目し、南アフリカの供給先と協力して改善を進める点が注目です。		
コニカミルタテクノプロダクト(株) 本社狭山	K-Passion	固定費予実比較における作業工数の低減と推定精度の向上
経営判断に影響する固定費推定精度の向上に取り組みました。今回の改善では、固定費予実比較作成作業の工数の削減、可視化する事により会社全体の推定精度への意識向上・維持継続にもつながりました。自分達のみではなく、後工程の満足も達成できた活動です。		
グローリー(株) 埼玉工場	さくらんぼ	長期停滞在庫の使い切り大作戦！～生産の取り消しを乗り越えて～
突然の生産の取りやめ指示を受け、手配していた全部品を上位の指示で遠方の倉庫へ集約し在庫の管理。再開となった生産に対し、長期停滞在庫を全て使い切れないか？部品の供給をどうコントロールすればよいか？など、他部門を巻き込んで知恵を出し合い、模索しながら進めた、まさに使い切り大作戦です。		
カヤバ(株) 熊谷工場	ミキサ	中小型車 残水缶キャリア取付け改善
私たちはコンクリートミキサ車の組立業務を担当しています。今回の改善はお客様からの要望の多いオプション品「残水缶キャリア」の取付け方法について検討し、取付け工数低減と品質向上に向けて取り組んだ事例です。		
富士電機機器制御(株) 吹上事業所	SSS	接点接合加工不適合品率の低減 サブテーマ：接点小不適合品の撲滅
私達のサークルは、『若手・中堅の柔軟な発想力とベテランの経験豊富なスキルを活かし、常に進化しよう！』をモットーに全員の力を結集し活動を展開。難題である接点小不適合品を撲滅する為、技術グループを巻き込み粘り強く三現観察を繰り返し、真の要因を追究。サークルの成長と共に、見事目標を達成した事例です。		
大崎電気工業(株) 埼玉事業所	ENDEAVOR	市販向CT樹脂量安定注入による品質向上
大崎で2021年に始まった新しい工程での改善活動です。 4つの重要要因に対して4つの対策を行い樹脂注入の品質を安定させることで、多くのムダを無くし、1日の生産性を33%向上させました。本発表ではその詳細を誰が見てもわかりやすいように図を用いてまとめました。		
コーセイインダストリーズ(株) 狭山事業所	ファンタスティック	小型粉体充填機 手作業から自動化への挑戦！
生産高負荷な状況に、応援者だけでも対応できるラインの確立を図るべく、手作業だった小型粉体充填機の自動化に挑戦しました。ベテランメンバーが学んできた技術や、日頃の改善で得たスキルを新人メンバーと共に発揮し、試行錯誤の末に実生産で成果を上げるまでの取り組みをご覧ください。		
グローリー(株) 埼玉工場	SK	組立用チェックシートのばらつきをなくす
生産に必要な不可欠な組立用チェックシート作成業務において、人による作成時間のばらつきや、設定項目など何をどうすればよいか迷うなど、技術担当の悩みはつきませました。実際にチェックシートを活用する後工程の製造部の声を聞き、巻き込んで活動した結果、満足のいく取り組みにつながりました。		
UDトラックス(株) 本社・上尾工場	アルティマウェボン	キャブ搬送装置搬出における手押し作業撲滅
今までの「当たり前」を疑い、「変わる」ことをポジティブに捉え変化を恐れずに活動を行っています。 今回の活動では、老朽化設備に次世代技術導入によるIOT化への取り組みと同時に、これまでの『保全業務の当たり前』を、IOT化で視点を変えることで『次世代の保全業務の当たり前』へと変えていく改善となりました。		
コニカミルタテクノプロダクト(株) 本社狭山	エコイスト	産業廃棄物における排出量の削減
当社での産業廃棄物の排出量は近年増加傾向で2022年度は過去最大となり、産廃排出量削減は必達すべき課題でした。そこで、他部門を巻き込んで「分別の徹底による有価物化」、「従来廃棄していた木製パレット有効活用」を推し進め、継続可能な仕組みにまで落とし込み、目標を達成しました。		